2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	株式会社コラントッテ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7792	URL	https://colantotte.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 小松　克巳	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役最高財務責任者	(氏名) 井阪　義昭	(TEL) 06-6258-7350
定時株主総会開催予定日	2026年12月22日	配当支払開始予定日	2026年12月23日
有価証券報告書提出予定日	2026年12月17日		

決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　(個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	9,001	30.1	2,257	24.7	2,262	23.8	1,511	13.8
2025年９月期	6,917	16.4	1,810	20.6	1,827	22.2	1,328	29.7

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円　銭	円　銭	%	%	%
2026年９月期	166.10	165.62	26.4	30.9	25.1
2025年９月期	146.49	145.54	28.6	30.1	26.2

(参考) 持分法投資損益　2026年９月期　－百万円　2025年９月期　－百万円

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
2026年９月期	7,923	6,298	79.5	690.19
2025年９月期	6,717	5,167	76.9	568.39

(参考) 自己資本　2026年９月期　6,298百万円　2025年９月期　5,167百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,192	△487	△382	2,501
2025年９月期	998	△303	△272	2,180

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向	純資産配当率
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	42.00	42.00	381	28.7	8.2
2026年９月期	－	0.00	－	50.00	50.00	456	30.1	7.9
2027年９月期(予想)	－	0.00	－	54.00	54.00		30.8	

３．2027年９月期の業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	4,700	8.5	1,150	2.9	1,150	2.0	770	0.2	84.38
通期	10,000	11.1	2,400	6.3	2,400	6.1	1,600	5.9	175.33

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	9,125,700 株	2025年９月期	9,092,100 株
②　期末自己株式数	2026年９月期	42 株	2025年９月期	42 株
③　期中平均株式数	2026年９月期	9,099,945 株	2025年９月期	9,066,947 株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧下さい。

（決算補足資料の入手方法について）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示しています。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 3
３．財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）貸借対照表 …… 5
（２）損益計算書 …… 7
（３）株主資本等変動計算書 …… 9
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（表示方法の変更） …… 12
（持分法損益等） …… 12
（セグメント情報等の注記） …… 12
（１株当たり情報） …… 13
（重要な後発事象） …… 13

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復傾向となりました。一方で、物価高の影響や海外経済の減速といった下押し要因に加えて、中東情勢や金融資本市場の変動の影響などにも注意が必要であり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が営んでいる事業につきましては、当社の強みであるスポーツ市場において、健康への関心の高まりもあり堅調に推移いたしました。

このような経営環境の中、「本気の笑顔の実現」という経営理念の下、社会的課題である「生活の質」＝QOL(Quality Of Life)の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当事業年度につきましては、新製品の市場投入やクリスマス、母の日、父の日などのギフト需要への施策を行うとともに、テレビCMや新聞広告、様々なキャンペーン施策、当社契約選手によるイベントの開催、SNSへの発信等マーケティング活動の強化に取り組みました。さらに、主要取引先との関係強化と取引拡大等、営業活動の強化に取り組みました。このほか、当社は業務拡張に伴い、研究開発センターを開設することとなり、2026年５月より、業務機能の一部を移転いたしました。研究開発センターの開設によりさらなる技術力・開発体制の強化を推進し、より一層の製品・サービス向上に努めてまいります。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、通販チャネルとの取引において高価格帯商品の販売が好調に推移したほか、リカバリーウェアを軸に既存顧客の深耕と新規顧客の獲得を推進した結果、売上高は4,462,426千円(前期比12.0%増)となりました。

イーコマース部門につきましては、テレビCM、SNS等を核としたマーケティング活動の強化による認知度の向上及びキャンペーン施策、クリスマスなどのギフト需要への施策等により、好調に推移いたしました。以上の結果、売上高は3,331,736千円(前期比52.9%増)となりました。

リテール部門につきましては、キャンペーン施策やクリスマスなどのギフト需要への施策、テレビCMの効果等により、来店客数が増加し堅調に推移いたしました。また、2025年10月には「イオンモール仙台上杉」（宮城県仙台市）、同年11月には「三井アウトレットパーク岡崎」（愛知県岡崎市）、同年12月には「ららぽーと門真」（大阪府門真市）、2026年３月には「西宮阪急」（兵庫県西宮市）に新規出店いたしました。その結果、売上高は1,207,179千円(前期比59.9%増)となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高につきましては、9,001,342千円(前期比30.1%増)となりました。利益面につきましては、高付加価値商品が堅調に推移していることに加え、イーコマース部門及びリテール部門が好調に推移しており、認知拡大及び販促強化を目的とした広告宣伝等の先行投資を積極的に行ったことから、営業利益は2,257,505千円(前期比24.7%増)、経常利益は2,262,074千円(前期比23.8%増)となりました。当期純利益は、前期における「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に示された分類の見直しに基づく、繰延税金資産の追加計上の影響もあり、1,511,524千円(前期比13.8%増)となりました。

これにより、売上高、利益とも過去最高を更新し、利益に至っては、９期連続で過去最高益を更新いたしました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとしているため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末の流動資産は5,689,124千円となり、前事業年度末と比較して862,959千円増加いたしました。これは主に、製品が431,727千円、現金及び預金が321,477千円、売掛金が88,771千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は2,234,049千円となり、前事業年度末と比較して343,204千円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定が258,102千円減少した一方で、建物が530,586千円、工具、器具及び備品が39,974千円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、当事業年度末の資産合計は7,923,174千円となり、前事業年度末と比較して1,206,164千円増加いたしました。

（負債）

当事業年度末の流動負債は1,600,387千円となり、前事業年度末と比較して73,091千円増加いたしました。これは主に、電子記録債務が109,525千円減少した一方で、未払法人税等が128,251千円、未払金が21,247千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は24,320千円となり、前事業年度末と比較して2,427千円増加いたしました。これは、リース債務が3,235千円減少した一方で、資産除去債務が5,662千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当事業年度末の負債合計は1,624,707千円となり、前事業年度末と比較して75,518千円増加いたしました。

（純資産）

当事業年度末の純資産合計は6,298,466千円となり、前事業年度末と比較して1,130,645千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1,129,658千円増加したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、投資活動によるキャッシュ・フローが487,705千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが382,995千円の支出となったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが1,192,063千円の収入となったため、前事業年度末に比べ321,477千円増加し、当事業年度末には2,501,502千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,192,063千円(前事業年度は998,346千円の収入)となりました。これは主に、法人税等の支払額614,637千円、棚卸資産の増加額388,562千円があったものの、税引前当期純利益2,232,513千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は487,705千円(前事業年度は303,405千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出461,914千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は382,995千円(前事業年度は272,180千円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額381,608千円等があったことによるものであります。

（４）今後の見通し

次期の見通しにつきましては、国内景気は各種政策の効果や賃上げの浸透により緩やかな改善が見込まれるものの、長期化する物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりや地政学リスクの緊迫化、海外経済の動向など、厳しい経営環境が続くことが予想されております。その一方で、インバウンド需要の継続的な拡大や、人々の健康志向を背景としたスポーツへの関心の高まりなど、堅調な市場環境の推移が見込まれております。このような状況のなか、2027年は「FIVBバレーボール男子ワールドカップ」等の開催が予定されており、スポーツ市場の盛り上がりが期待され、当社といたしましても、マーケティング活動を一層強化し、ブランド認知度の向上やプロモーション活動に積極的に取り組んでまいります。

以上により、売上高は10,000百万円(前期比11.1％増)、営業利益は2,400百万円(前期比6.3％増)、経常利益は2,400百万円(前期比6.1％増)、当期純利益は1,600百万円(前期比5.9％増)を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内同業他社の動向及び国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,180,025	2,501,502
受取手形	4,743	－
電子記録債権	243,940	303,966
売掛金	675,106	763,878
製品	875,744	1,307,471
仕掛品	300,067	285,078
原材料及び貯蔵品	447,647	419,471
前払費用	39,899	45,787
その他	59,820	62,715
貸倒引当金	△831	△747
流動資産合計	4,826,164	5,689,124
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	310,592	841,179
構築物（純額）	0	9,385
車両運搬具（純額）	2,661	2,936
工具、器具及び備品（純額）	53,066	93,041
土地	730,955	730,955
リース資産（純額）	11,485	8,543
建設仮勘定	258,668	566
有形固定資産合計	1,367,430	1,686,609
無形固定資産		
ソフトウエア	29,715	19,158
その他	145	145
無形固定資産合計	29,860	19,304
投資その他の資産		
投資有価証券	99,331	98,075
出資金	11	11
破産更生債権等	731	－
長期前払費用	4,265	3,407
繰延税金資産	218,359	235,497
その他	171,587	191,145
貸倒引当金	△731	－
投資その他の資産合計	493,554	528,136
固定資産合計	1,890,845	2,234,049
資産合計	6,717,010	7,923,174

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	162,608	53,082
買掛金	274,813	286,980
リース債務	3,235	3,235
未払金	373,688	394,936
未払費用	28,813	36,708
未払法人税等	351,389	479,641
預り金	16,164	16,598
賞与引当金	85,895	102,927
製品保証引当金	10,177	11,880
株主優待引当金	46,874	54,459
クーポン引当金	6,507	1,282
その他	167,126	158,652
流動負債合計	1,527,296	1,600,387
固定負債		
リース債務	9,667	6,432
資産除去債務	12,225	17,887
固定負債合計	21,893	24,320
負債合計	1,549,189	1,624,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	489,269	490,193
資本剰余金		
資本準備金	479,269	480,193
資本剰余金合計	479,269	480,193
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	37,500	37,500
繰越利益剰余金	4,164,595	5,294,253
利益剰余金合計	4,202,095	5,331,753
自己株式	△29	△29
株主資本合計	5,170,603	6,302,109
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,782	△3,643
評価・換算差額等合計	△2,782	△3,643
純資産合計	5,167,820	6,298,466
負債純資産合計	6,717,010	7,923,174

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	6,917,910	9,001,342
売上原価		
製品期首棚卸高	655,910	875,744
当期製品製造原価	2,480,092	3,129,716
合計	3,136,002	4,005,461
製品期末棚卸高	875,744	1,307,471
製品売上原価	2,260,258	2,697,989
売上総利益	4,657,651	6,303,353
販売費及び一般管理費	2,847,565	4,045,848
営業利益	1,810,085	2,257,505
営業外収益		
受取利息	1,888	3,744
為替差益	4,075	5,605
受取和解金	10,000	－
受取補償金	19	1,280
その他	2,300	1,712
営業外収益合計	18,284	12,342
営業外費用		
固定資産除却損	834	7,773
営業外費用合計	834	7,773
経常利益	1,827,535	2,262,074
特別損失		
減損損失	－	29,561
特別損失合計	－	29,561
税引前当期純利益	1,827,535	2,232,513
法人税、住民税及び事業税	566,904	737,731
法人税等調整額	△67,583	△16,743
法人税等合計	499,320	720,988
当期純利益	1,328,215	1,511,524

製造原価明細書

区分	注記番号	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日) 金額(千円)	構成比 (%)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日) 金額(千円)	構成比 (%)
Ⅰ　材料費		1,875,299	76.2	2,408,619	77.3
Ⅱ　労務費		101,725	4.1	115,453	3.7
Ⅲ　経費	※	484,184	19.7	590,654	19.0
当期総製造費用		2,461,208	100.0	3,114,727	100.0
期首仕掛品棚卸高		318,950		300,067	
合計		2,780,159		3,414,795	
期末仕掛品棚卸高		300,067		285,078	
当期製品製造原価		2,480,092		3,129,716	

原価計算の方法

原価計算の方法は、組別総合原価計算を採用しております。

(注)※　主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
外注加工費(千円)	429,615	537,042
減価償却費(千円)	22,381	27,337

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	488,378	478,378	478,378	37,500	3,108,169	3,145,669	△29	4,112,396
当期変動額								
新株の発行（新株予約権の行使）	891	891	891					1,782
剰余金の配当					△271,789	△271,789		△271,789
当期純利益					1,328,215	1,328,215		1,328,215
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	891	891	891	－	1,056,425	1,056,425	－	1,058,207
当期末残高	489,269	479,269	479,269	37,500	4,164,595	4,202,095	△29	5,170,603

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△2,117	△2,117	4,110,278
当期変動額			
新株の発行（新株予約権の行使）			1,782
剰余金の配当			△271,789
当期純利益			1,328,215
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△664	△664	△664
当期変動額合計	△664	△664	1,057,542
当期末残高	△2,782	△2,782	5,167,820

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	489,269	479,269	479,269	37,500	4,164,595	4,202,095	△29	5,170,603
当期変動額								
新株の発行（新株予約権の行使）	924	924	924					1,848
剰余金の配当					△381,866	△381,866		△381,866
当期純利益					1,511,524	1,511,524		1,511,524
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	924	924	924	－	1,129,658	1,129,658	－	1,131,506
当期末残高	490,193	480,193	480,193	37,500	5,294,253	5,331,753	△29	6,302,109

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△2,782	△2,782	5,167,820
当期変動額			
新株の発行（新株予約権の行使）			1,848
剰余金の配当			△381,866
当期純利益			1,511,524
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△860	△860	△860
当期変動額合計	△860	△860	1,130,645
当期末残高	△3,643	△3,643	6,298,466

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,827,535	2,232,513
減価償却費	71,572	89,135
減損損失	－	29,561
貸倒引当金の増減額（△は減少）	462	△815
賞与引当金の増減額（△は減少）	13,401	17,032
製品保証引当金の増減額（△は減少）	3,022	1,703
クーポン引当金の増減額（△は減少）	3,011	△5,225
受取利息	△1,888	△3,744
為替差損益（△は益）	△4,090	△5,608
有形固定資産除却損	834	7,773
売上債権の増減額（△は増加）	△189,655	△144,053
棚卸資産の増減額（△は増加）	△315,118	△388,562
仕入債務の増減額（△は減少）	63,375	△95,637
株主優待引当金の増減額（△は減少）	18,769	7,584
受取和解金	△10,000	－
受取補償金	△19	△1,280
未払金の増減額（△は減少）	114,445	39,604
その他	△94,712	22,505
小計	1,500,943	1,802,485
利息の受取額	1,889	2,575
法人税等の支払額	△509,776	△614,637
和解金の受取額	5,270	360
補償金の受取額	19	1,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	998,346	1,192,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△269,642	△461,914
無形固定資産の取得による支出	△17,902	△10,259
差入保証金の差入による支出	△18,399	△13,651
保険積立金の積立による支出	△1,879	△1,879
その他	4,418	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303,405	△487,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,782	1,848
配当金の支払額	△271,578	△381,608
リース債務の返済による支出	△2,384	△3,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,180	△382,995
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	114
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	422,837	321,477
現金及び現金同等物の期首残高	1,757,188	2,180,025
現金及び現金同等物の期末残高	2,180,025	2,501,502

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（損益計算書関係）

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取手数料」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度においては「その他」に含めて表示しております。また、前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「受取補償金」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取手数料」167千円及び「その他」2,152千円は、「受取補償金」19千円、「その他」2,300千円として組み替えております。

（キャッシュ・フロー計算書関係）

前事業年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」にて記載を省略していた「受取補償金」及び「補償金の受取額」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」にて記載を省略していた「受取補償金」及び「補償金の受取額」は、「受取補償金」△19千円、「補償金の受取額」19千円として組み替えております。また、「小計」を1,500,963千円から1,500,943千円に変更しております。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	568.39円	690.19円
１株当たり当期純利益	146.49円	166.10円
潜在株式調整後 １株当たり当期純利益	145.54円	165.62円

（注）１株当たり当期純利益の算定上の基礎並びに潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	1,328,215	1,511,524
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,328,215	1,511,524
普通株式の期中平均株式数(株)	9,066,947	9,099,945
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	59,035	26,504
(うち新株予約権(株))	(59,035)	(26,504)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	―

（重要な後発事象）

該当事項はありません。